

平成 30 年度版

みらいを創る、ふくしの学び

—かすがい福祉教育プログラム—



社会福祉法人 春日井市社会福祉協議会



は じ め に

本協議会は、地域で暮らす家族、友人、身近な人を始めとして、すべての人とともに、心豊かにいつまでも安心して暮らせる社会の実現を目指し、やさしい心による「あんしん」と「ぬくもり」のまちづくりを推し進め、昨年、法人設立 30 周年を迎えることができました。

これまでの歩みを踏まえ、福祉の心を育み、ともに支え合う福祉のまちづくりをより一層推進するため、「みらいを創る、ふくしの学び ーかすがい福祉教育プログラムー」を策定いたしました。

今回のプログラムは、特に学校における福祉教育を推進するものとして、教育現場の円滑な実践に寄与する素材を提供するものです。

本来は、福祉教育のフィールドは暮らしの中にあり、あらゆる場面で展開できるものと考えています。このプログラムを第一歩として、学校、地域、家庭が有機的に結びつき、子どもの生活の中で連続的に体験や学習ができることを目指して、皆さんとともに力を合わせて取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、貴重なご意見やご提言をいただきました、福祉教育プログラム検討委員会委員を始め、関係者の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

平成 22 年 3 月

社会福祉法人 春日井市社会福祉協議会
会 長 成 瀬 正 美

目 次

1	ねらい	1
2	活用方法	1
3	福祉学習のプロセス	2
(1)	事前学習(目標と方法を決めよう)	4
ア	調べる項目	5
イ	ゲーム	6
ウ	グループワーク・話し合いのテーマ	9
(2)	実践(実際に取り組んでみよう)	10
ア	疑似体験・福祉体験	10
イ	社会福祉施設実習	11
ウ	福祉行事サポート	11
エ	地域行事サポート	11
オ	高齢者の知識・知恵を学ぶ	12
カ	当事者・施設職員の講義	12
キ	バリアフリーの調べ学習	15
ク	ユニバーサルデザインの調べ学習	18
ケ	身近な課題の調べ学習	20
コ	福祉に関連する学習内容	22
(3)	振り返り学習(取り組んだ内容をまとめよう)	23
4	こんな方法もあります	24
(1)	学習素材一覧	25
(2)	プログラム例	26

《 インフォメーション 》

1 つながるネットワーク	32
2 社会福祉協議会とは	33
3 市内の主な社会福祉施設や相談・支援機関	
(1) 障がい児・者関係	
ア 施設	36
イ 相談機関	46
ウ 市の窓口	47
(2) 高齢者関係	
ア 施設	48
イ 相談機関	56
ウ 市の窓口	58
(3) 児童関係	60
(4) その他の機関	62
4 私たちの地域で活動している人たち	63
5 福祉体験の講師依頼・貸し出し物品	66
6 施設訪問やゲストを学校へ招くためのチェックリスト	72
7 施設訪問チェックリスト	74
8 用語集	75